

2010年1月26日

ニュースリリース

世界銀行
日興アセットマネジメント株式会社**世界初*、グリーンボンドに投資する世界銀行との協同開発ファンド
「SMBC・日興 世銀債ファンド(世界銀行グリーンファンド)」を設定**

～地球のために、資産のために、「減らして、増やす」～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、**世界銀行(国際復興開発銀行:IBRD、格付け:Aaa/AAA)との協同開発**により、世界銀行が発行するグリーンボンドを投資対象に組み入れた「SMBC・日興 世銀債ファンド(愛称:世界銀行グリーンファンド)」を2月19日に設定、運用を開始する予定です。募集は、三井住友銀行および日興コーディアル証券にて2月1日から開始します。

世界銀行がグリーンボンドを通じて支援する事業には、代替エネルギーの導入、温室効果ガス排出を軽減する新技術の開発、森林再生など、開発途上国における気候変動問題に取り組むプロジェクトが含まれており、2008年11月以降、世界銀行は総額約9億6000万米ドルのグリーンボンドを発行しています。

「SMBC・日興 世銀債ファンド」は**グリーンボンドに投資する世界で初めての世界銀行との協同開発ファンド***です。AAA格の高い信用力を誇る世銀債への投資を通じて、環境保全活動への取り組みをご支援いただくことが可能となります。地球温暖化問題への対応として二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの削減と、資産運用の両方を同時に実現する＝地球のために、資産のために、「減らして、増やす」が、このファンドのコンセプトです。

「SMBC・日興 世銀債ファンド」は、日興 AM が2007年に世界で初めて世界銀行と協同開発した「世界銀行債券ファンド(毎月分配型) 愛称:ワールドサポーター」に次ぐ、世界銀行との協同開発商品第2弾となります。

世界銀行総裁のロバート・B・ゼーリック氏は次のようにコメントしています。「気候変動問題への取り組みは、官民双方の資金提供がなされて初めて実現できることであり、次世代への計り知れない支援となることでしょう。「SMBC・日興 世銀債ファンド」は、日本の投資家のみなさまにその一助となる機会をご提供します。投資をすると同時に、次世代の子供たちによりよい地球を残すことができると証明する機会を得られたことを大変うれしく思います。」

また、当ファンドの設定に際し、日興 AM 取締役会長兼 CEO ティモシー・マッカーシーは次のように述べています。「世界的な環境問題への認識が高まっています。この問題はわれわれの生存をも左右する大変重大なものです。そして問題解決のための事業には膨大な資金と専門性がが必要です。世界銀行のように信頼性の高い世界的機関は、リスクを管理しながらさまざまなプロジェクトへ取り組む力を備えており、世界銀行は世界的危機への対処という点において重要な役割を果たすものと考えます。日興 AM は、世界銀行と協同開発したこのグリーンファンドを通じて、投資リターンとリスク管理の実現をめざし、投資家の資金を世界のために役立てる機会をご提供します。」

日興 AM は、株式運用中心であった日本における SRI ファンドの土壌に、債券を投資対象としたファンドを拡充し、その社会的な役割を大きく広げています。今後も、日本の投資家のみなさまにさまざまな投資機会をご提供できるよう一層尽力していきます。

* 日興 AM 調べ。2010年1月26日現在

■世界銀行について(世界銀行ホームページより抜粋)

世界銀行は、一般に、国際復興開発銀行 (IBRD) と国際開発協会を意味します。1945 年に設立された IBRD (International Bank for Reconstruction and Development) は、世銀グループのうち最も歴史が長く、また単一機関としては最大の開発資金の融資機関となっています。IBRD は中所得国および信用力のある貧困国に融資、保証、および分析・助言サービスなどの非融資業務を提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。過去の融資から得られた利益は、開発活動の原資になるだけでなく、IBRD の財務の健全性を示す指標となり、IBRD が資本市場から低利で資金を調達し、借入国に緩やかな条件で融資を提供することを可能にしています。

■お申込メモ

商品分類	【SMBC・日興 世銀債ファンド】追加型投信／海外／債券 【日興マネー・アカウント・ファンド】追加型投信／国内／債券
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	〔当初申込期間〕1 口当たり 1 円 〔継続申込期間〕お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込期間	〔当初申込期間〕2010 年 2 月 1 日～2010 年 2 月 18 日 当初申込期間以降もお申込みいただけます。
お申込不可日	【SMBC・日興 世銀債ファンド】取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2019 年 10 月 21 日まで(2010 年 2 月 19 日設定)
決算日	【SMBC・日興 世銀債ファンド】毎月 20 日(休業日の場合は翌営業日)。ただし、初回決算は 2010 年 3 月 23 日とします。 【日興マネー・アカウント・ファンド】毎年 10 月 20 日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	【SMBC・日興 世銀債ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわないこともあります。 【日興マネー・アカウント・ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	【SMBC・日興 世銀債ファンド】換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
- 受託会社 : 住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 株式会社三井住友銀行、日興コーディアル証券株式会社

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- お申込手数料：【SMBC・日興 世銀債ファンド】お申込手数料率は、3.15% (税抜 3%) を上限として販売会社が定める率とします。
【日興マネー・アカウント・ファンド】ありません。 ※「SMBC・日興 世銀債ファンド」からのスイッチングのみ
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
- 換金手数料：ありません。
- 信託財産留保額：ありません。
- スイッチング手数料：ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬：【SMBC・日興 世銀債ファンド】純資産総額に対して年率1.255% (税抜1.21%) 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率 [年率0.945% (税抜0.90%)]、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「WBグリーンファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率 [年率0.31% 程度] となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率 (年率) は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。
【日興マネー・アカウント・ファンド】純資産総額に対して年率0.5775% (税抜0.55%) 以内の率を乗じて得た額となります。
 - その他費用：組入価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、など
※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
- ※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※ 詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

■リスク情報

【SMBC・日興 世銀債ファンド】

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券 (外貨建証券は為替変動リスクもあります。) を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動の影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があり、基準価額にも影響を与えることがあります。したがって、元金を割り込むことがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

【日興マネー・アカウント・ファンド】

当ファンド (マザーファンドを含みます。) は、主に債券など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「SMBC・日興 世銀債ファンド(愛称:世界銀行グリーンファンド)」および「日興マネー・アカウント・ファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、お客さまに当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 当ファンドは、金融商品取引法(昭和23年法第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2010年1月15日に関東財務局長に提出しており、2010年1月31日よりその効力が発生します。なお、効力発生前に記載内容の訂正が行なわれる場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などを2010年2月1日以降にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興AMの投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約200社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興AMは、国内初の社会的責任投資(SRI)ファンド『日興エコファンド』を1999年に設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けてISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を2001年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行ってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&Iなどの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興AMグループ*の運用資産残高は約9.9兆円(2009年9月末現在)**に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

*「日興AMグループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。